

深谷市立榛沢小学校
学校だより

令和3年度 夏休み号

発行 令和3年7月20日



はんざわ

児童数 176名

教職員数 26名

学校教育目標
目指す児童像

ふるさとを愛し、自己の夢の実現に向けて努力する児童の育成
進んで勉強する子 思いやりのある子 体をきたえる子



夏休みと三日坊主

深谷市立榛沢小学校校長 横田 茂男

7月21日(水)から8月26日(木)まで、37日間の夏休みとなります。

皆様に感染防止対策へのご協力をいただき、子供たちの健康を守ることができています。また、大きな事故なく学校生活が安全に進められています。様々なご支援に感謝申し上げます。

子供たちは皆有意義に夏休みを活用しようと考えています。計画的に過ごすことができる者もありますが、三日坊主に陥ったり、課題を先延ばしにしているうちに計画と現実のギャップに愕然としてしまう場合も考えられます。ところで、三日坊主は物事が長続きしないことの悪い例えに使われますが、意欲を持ってスタートしていることが多いです。気持ちを新たに再スタートが切れるかが大切です。続けることができれば是非認める言葉掛けをお願いします。三日坊主を繰り返すうちに、だんだんと自分に合った計画を立てられるようになりますし、続けることの素晴らしさを体得できるようにもなります。

ところで、各学校は、国のGIGAスクール構想の一人1台端末の活用を進めています。本校の教員は、端末の活用を積極的に図っています。端末を活用すると、教員から児童へ、また、児童から児童へ、課題解決に有効な資料を瞬時に送信することができ、学習を効率的に進めることができます。画面に学級全員の考えを表示させることができ、これらを参考に自分の考えを深めることもできます。学校からのお知らせにもありますが、休み中、児童が端末を家庭に持ち帰ります。情報モラルの啓発や視力の低下等、活用についての課題が全くないわけではありません。今は、何ができるかを試行錯誤している状況です。お子さんの活用についてお気づきの点がありましたら、ご家庭でも話し合いを持っていただければ有難いです。

特集 聖火リレー

炎をつないできました

東京2020オリンピック聖火リレーが7月8日(木)に本庄市深谷市区间で行われました。本庄市のはにぽんプラザをスタートし、道の駅おかべを経由後、深谷駅北口を目指すルートでした。距離としても時間としても日本で最も長い聖火リレーとなりました。私は第2走者として炎を繋ぎました。繋いだ炎は、23日のオリンピックの開会式で、最終ランナーによって国立競技場の聖火台に点火されます。



写真は、第2走者の私から第3走者へ炎がリレーされるところです。現在、YouTubeで観ることができます。保護者や子供たちからもエールをたくさんいただきました。ありがとうございます。

聖火リレーで使用したトーチを子供たちが手にし、担任と校長と一緒に写真を榛沢小学校後援会と榛沢小学校PTAのご協力でお渡しすることができました。2021年の記念として、またお子さんの自己実現に向けての決意のシンボルとしてお納めいただけますと幸いです。

